

情報連絡一覧票（令和4年12月）

| 集計上の分類業種 | 具体的な業種 (産業分類細分類相当) | 組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点） |
|----------|-----------------------|--|
| 製造業 | パ ン | ほとんどの組合員が販売価格アップを図っており売上也対前年に対してアップしている。（給食は横ばい、市販・イベントについてはやや上昇傾向）売上アップに対して原価は原材料・電気料・人件費が大幅アップし収益状況は悪化。人件費については人手不足で最低賃金では応募がなく大幅アップとなる。大型商業施設の新設等により採用が厳しくなるケースもあり。売上アップと生産コストダウンを強力に進めていかなければ収益は改善できない。 |
| | 酒 造 | 令和4年度11月の清酒課税移出数量の特定名称酒は対前年比96.57%と下回った。内訳は吟醸酒96.85%、純米吟醸93.77%、純米酒95.17%、本醸酒100.43%となった。特定名称酒以外の普通酒は対前年比86.02%と下回り、合計で対前年比95.27%と前年を下回る結果となった。 |
| | ひ も の | 先月も記載したが電気料金をはじめ諸資材の値上がりで生産コストが上昇していることから販売価格値上げを実施した者も見られたが期待した利益は得られず厳しい経営を強いられている者が多い。 |
| | 製 種 | 今月の前半はWカップの影響があまり人が外に出なかったようであり良くなかった印象である。しかし、今月は所々に寒波がやってきて寒い日があったが通してみるとまあまあな感じであった。来年は制限が解除されマスクやディスタンスなどのコロナの呪縛から解放されることを祈るばかりである。 |
| 木材・木製品 | 家具 | 家具の業界紙「ホームリビング」が発表した景気アンケートから、2023年の家具業界を占う。45社の集計であるが、家具業界は良くなる11%、変わらない33%、悪くなる56%と過半が悲観的である。良くなるとする理由はコロナ以降「休息（睡眠）」「運動」「食事」など健康を整える商品が伸びている。住宅の改善需要があるなど。悪くなるとする理由は、外出・旅行が増える分、おうち需要が減退する。物価上昇により消費マインドが冷え込む。二分化が進むすなわち低価格が高価格、中価格帯は苦戦する。 |
| 印刷 | 製 本 | 印刷・情報用紙の出荷減が続く中、12月も仕事量は少なかつた。イベント、忘年会等は昨年よりも増加しているようだが規模は小さくコロナ以前に戻ったとは言えない。紙離れも進む中、どう生き残っていくか、各社頭を悩ませている。 |
| | 印 刷 | 日本製紙連合会はこのほど、「2022年11月 紙・板紙需給速報」を発表した。紙・板紙の国内出荷は前年同月比1.9%減、3ヶ月連続のマイナス。グラフィック用紙は4.6%減、10ヶ月連続のマイナス。パッケージング用紙は1.0%減、2ヶ月連続のマイナス。主要品種は情報用紙、包装用紙、白板紙、衛生用紙を除きマイナス。紙・板紙の在庫は前月比91千トン減、2ヶ月ぶりの減少。グラフィック用紙は65千トン減、2ヶ月連続の減少。パッケージング用紙は19千トン減、2ヶ月ぶりの減少。衛生用紙は6千トン減、2ヶ月ぶりの減少。グラフィック用紙では、新聞用紙・印刷・情報用紙とも減少。パッケージング用紙では、段ボール原紙、包装用紙が減少となった。 |
| 化学・ゴム | 石 油 製 品 | 今月の景況について、ある組合員は次のように話していた。「原料価格の値上がりで価格に反映できない状況に変化は無く、売上高は増加しているものの、収益は悪化している。年末から為替が円高方向に多少変動したが、資金繰りを改善する程のインパクトは無い。2023年は自動車産業の生産活動再開に期待したい。」 |
| 窯業・土石製品 | 砕 石 | 生コンクリートの出荷は地域差があるものの増加してきたため、骨材の出荷も増加してきた。しかし、生産経費については燃料の高止まり、電気料金の値上げにより増加している。 |
| 鉄鋼・金属 | 塗 装 | 売上金額は前年同期に比べて増加している。しかしながら一括受注売上は増加しているが、本業の塗装の売上が減少しており、利益は上がっていない。原材料、電力費等の高騰で利益は圧迫され、パワー半導体不足等で受注は減少気味である。 |
| | 工 業 団 地 | トラック・バスメーカーのデーター不正問題で操業が大幅に落ち込んでいたが、12月に入り不正発覚前の7割まで売上が回復してきた。 |
| | 工 業 団 地 | 相変わらず業務量（仕事量）はあるが「人・物」の不足感がある。需要感強いが感染症（コロナ・インフル）による穴がありカバーすることで大変である（急な休みがある）。 |
| | 工 業 団 地 | 経済環境は厳しさが続いているが生産は上向いている。仕入れコスト高、流通コスト高を販売価格に転嫁できれば良いが未だ厳しい。人材の新規雇用を行う会員が増えているが採用目標未達が多い。 |
| | 金 属 製 品 | 徐々に仕事量が増えてきた企業もあるが、自動車系は伸び悩み！！半導体不足が解消すれば受注及び売り上げも増加となる。相変わらず燃料費の高騰が中小企業には厳しい！！また中小企業のIT化もなかなか進まない。受注が増えても人材不足がネックになる。 |
| その他の製造業 | 工業中心の複合業種 | 年末に向け受注が減少傾向のところも出ているが、受注増でも材料・電気・原油すべての高騰で利益は出ない状況が続いている。今後も収益減・賃上げ・人材不足と問題は山積みである。2023年は好転を願いたい。 |
| | 工業中心の複合業種 | 半導体関連の動きが活発化されているが納品に時間がかかっている。コロナ禍の生活環境の変化により、受注変化への対応が求められる。原油、原材料の高騰が顕著であるが価格転嫁の遅れにより収益改善は進まず。 |
| | 工業中心の複合業種 | 電力料金値上げが止まらない。昨年同月比（燃料費調整額）で約13%上昇しているメッキ工業団地では、大きな問題化している。 |

情報連絡一覧票（令和4年12月）

| 集計上の分類業種 | 具体的な業種 (産業分類細分類相当) | 組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点） |
|----------|-----------------------|---|
| 非製造業 | 菓子卸 | 売上は変わらず3割減が続いている。値上げに伴う事務作業の増加が業務を圧迫している。年末商戦も盛り上がりならず、先行きについては見通しが立たない。 |
| | 卸団地 | 売上については前年同月比で増加となったが、新型コロナ禍以前（3年前）と比較した場合、依然減収している状況。（一部企業では3年前比増収）取扱い商品・販売ターゲットによって業績格差が顕著に表れている。アフターコロナによる世界的な需要増とロシアのウクライナ軍事侵襲等による原油高・半導体不足・小麦不足等によって、海外調達遅延、仕入価格上昇、物流経費増加によって変動費が上昇し、収益悪化に表れている。現時点では材料費仕入価格の上昇を販売価格に一部転嫁できた企業もあるが依然中小企業の大半が転嫁することが厳しい状況。（どの業種においてもいえる状況である。）物価高騰等の変動費上昇分を売上転嫁できるか否か、特に中小企業の事業継続の鍵を握るものと思慮。 |
| | リサイクル | 【新聞古紙】韓国向けが堅調なことから、価格は高止まりしている。ただし、日本国内は発生減から国内メーカー向けで取り合いとなっており、輸出価格よりも高値が付いている。当面、需要減と発生減の構図が続き、国内及び輸出向け共に玉の争奪戦により高値相場は崩れる気配がない。 【雑誌古紙】韓国の調達量は減少しているもののインドネシア向けに底堅い需要があり、また海上運賃が暴落していることから価格は下がり難い環境にある。新聞古紙と同様に高値相場が継続するものと予測する。店頭価格は国内・輸出共に20円台後半となっている。 【段古紙】段古紙市況は、今週に入り大幅に下落している。旧正月前の手配を終えたベトナム及び台湾メーカーは新規調達を中断している一方で輸出商社からのオファーが続いているためである。中国経済の低迷、欧米における消費減により、各国段原紙メーカーでは製品在庫が膨れ上がり、減産を余儀なくされている。高値水準で推移していた市況は崩れ、当面弱含み傾向が続くものと予測される。 |
| | リサイクル | 古紙市況は発生量は年末環境のもと、増加が年始に向けて継続していく見込みであるが、令和4年は紙の生産量の落ち込みが目立っており、内外ともに古紙需要を取り巻く環境は厳しいものとなっている。鉄スクラップ市況は海外の市況高のもと、強気モードが年末から続いているため、輸出は好調となっている。国内については、間庫在庫は低水準であったが、年末より市中発生が増加してきている。アルミや非鉄金属市況は、年末に日銀が事実上の利上げを行ったことから円高環境に突入しており、年明け以降の輸出環境の変化が懸念される。 |
| | 料理材料卸 | 本来12月の飲食店は忘年会等も有り、通常月以上に売上も多いはずであるがやはり今年は10月・11月と同じような動きをしており予想通りの売上となった。売上は前年比増加しているものの食品の値上げアイテム、値上幅が著しくその額が売上増加に多分に寄与している。1月以降も食品の値上が目白押しであり、業務の煩雑が増すことと考える。 |
| 小売業 | 菓子 | 12月に入り多少良い。 |
| | 化粧品 | 化粧品メーカーの社長も今年は徐々に景気が回復していくのではとっており、我々小売店も昨年よりは良くなっていくのではと思う。 |
| | 電化製品 | 冬の寒さの到来もあり、エアコン暖房器具関連の商品が好調であった。各店とも省エネタイプの機種のプロモーションに重点を置く活動に力を入れている。今後も電気料金の値上げ関連でますます節電タイプの商品が売れ筋になると思う。 |
| | 青果 | 青果類は自然に左右されることが多く、12月も栽培ハウスの暖房費の上昇などでイチゴや胡瓜が高騰し、早生みかんの収穫期の秋には気温が上がったため、傷みが多く、また、愛媛では「裏年」のため、出荷量は少なく、それらを補うはずの輸入かんきつ・オレンジやグレープフルーツも海上輸送費の上昇や為替相場への円安の影響で相変わらず入荷も少なく高値の一因となっている。 |
| | 青果 | 12月上旬は、天候も良く入荷相場ともに安定していたが、中旬以降積雪寒波が厳しく特に南西産地の果菜類（キュウリ・トマト・ナス等）、主力商品のみかん、関東産イチゴが高騰した。一般食品の更なる値上げが続き、青果関係ギフト年末需要も上がらず、販売には厳しい展開であった。総体的には、前年対比取扱量103%・取引高前年対比103%であり何とか前年比を確保した状況であった。 |
| | 鮮魚 | 正月用品もほぼ全てが高騰しており消費は減少、売上も前年並みとはならなかった。 |
| | 燃料 | 資源エネルギー庁は来年1月以降、燃料油激変緩和措置について経済的に縮小され毎月2円づつ引き下げ、5月で25円になる。現状では原油価格の下落や円安が落ち着く中、補助支給額の25円を大きく下回っており、この水準が続けばガソリン等のSS店頭価格には影響が出ない見通しと思われる。なお、補助については6月以降原油価格動向などを踏まえ、段階的に縮減される方向と見られる。 |
| | 共同店舗 | コロナにより回復していない。空き店舗がうまらぬ。レンタルルームの申し込みはある。一店舗契約まで体力がないため |
| 商店街 | 川崎市 | 令和4年で2度目のタイヤ値上げが行われている。（原材料高騰による）行動制限のない年末年始にむけてアクティビティが増加し掃雪やレジャー目的でのスタッドレスタイヤの需要が増加し売上増加となっている。トラックタイヤなど生産財スタッドレスタイヤの需要も増加している。 |
| | 横浜市 | 食料・飲食店は好況、物販はあまり変化なし。原材料費の上昇をなかなか価格に転嫁できていない。物不足と収益の悪化は見られる。 |
| | 横須賀市 | 12月期は天候にも重まれコロナによる行動制限もなく来街者は増加傾向。イルミネーション装飾効果もあり夜も少し賑わいが戻ってきましたが、物価上昇等により消費の伸び悩みは続いており、今後も景気対策をお願いしたい。 |
| | 藤沢市 | プレミアム商品券支援事業費補助金、商店街名産品PR事業補助金をそれぞれ活用しているが、前年売上には届いていない。マイナスの要因は、経費節約のための売場面積の縮小、働き方改革という名目で休業する店舗増加、キャッシュレス決済を躊躇している店舗、埋まらない空き区画、事業承継が進まない店舗オーナーの高齢化等、さまざまである。一方、比較的若い世代（30代から40代）をうまく顧客に取り込めている店舗では、年間を通して売上は堅調である。 |

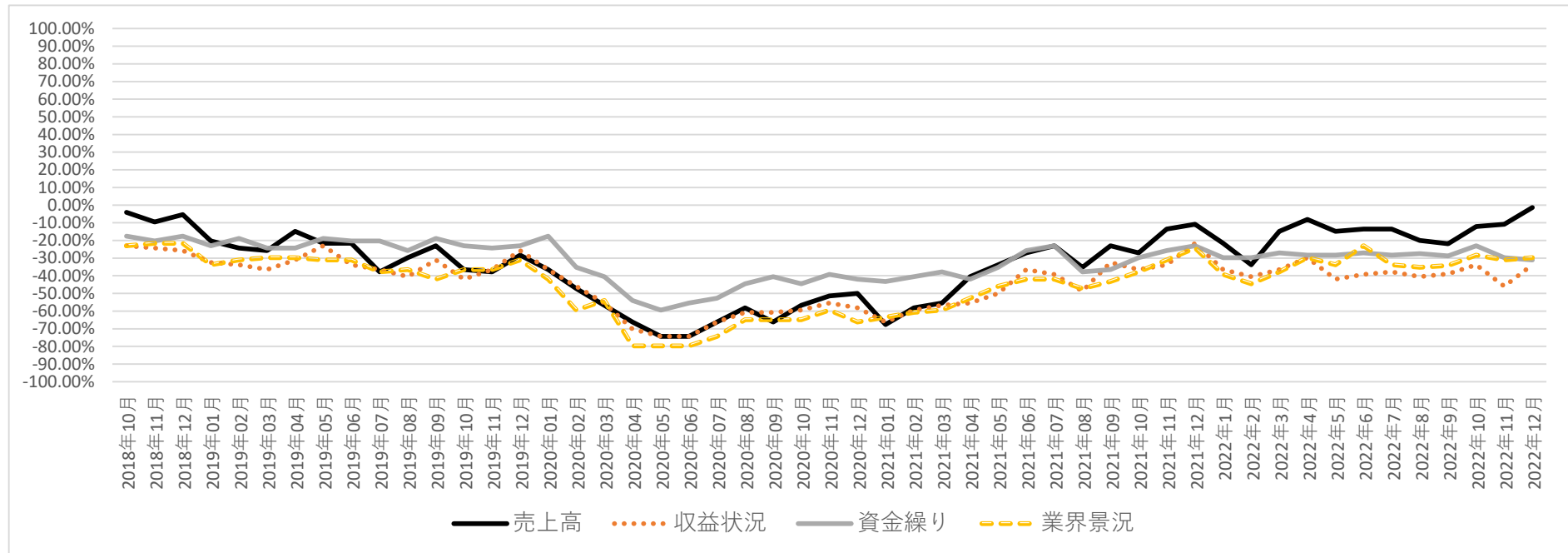
情報連絡一覧票（令和4年12月）

| 集計上の分類業種 | 具体的な業種 (産業分類細分類相当) | 組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点） |
|----------|-----------------------|--|
| サービス業 | 温泉旅館・ホテル | 年末は各施設ともほぼ満室の状況であった。外国人旅行者も急増し、宿泊単価がアップ。売上大幅増となった施設が多かった。しかし、外国人観光客増加によりNO Show（予約者がキャンセルの連絡もなく、来館しないこと）も多く発生しており、対応に苦慮している。 |
| | 医療業 | 【医療】今月もコロナ第8波の影響により、発熱外来、コロナ入院が増加した。コロナワクチン接種は順調に進んでいるが、インフルエンザワクチンは接種率が低く、そのために、横浜市は公費期間延長により1月も公費枠を設けることになった。一方、発熱外来は各病院、クリニック共に増加し、軽症であるがコロナ陽性率は高くなっている。本格的な寒さを迎え、基礎疾患患者及び高齢者の受診が増加しており、医療供給体制の確保に努めている。 【薬剤】コロナ関連医薬品（ベクルリー、ラゲブリオ）は増加、一方、薬剤の出荷調整が続き、供給不足は解消されていない。 【給食】水光熱費の大幅な値上げは続いており、何ともしがたい状況は変化しておらず、取引先の拡大による売上増加対策に奔走中である。 |
| | 建物 | 人材不足が新規物件取得への歯止めとなっている。最低賃金の上昇と契約額の引き上げのバランスが取れていない。 |
| | フィナンシャルプランナー | 1月～3月の活動の見直し、決算状況のチェック等、早めに着手し、変動の激しい状況に対応することに心がける。 |
| | 情報サービス業 | 売上は今年度いっぱい順調の見込みであるが、来年度は曇行きが怪しくなってきた。12月の収益・資金繰りが売上と比べて著しく悪いのは、物価上昇による生活費補助として賞与を多めに支払ったためである。 |
| | 建設設計 | 建築業界では資材の高値安定が継続している。設計においては横浜市は市内小中学校の建て替え方針の見直しを行い、建て替えが困難な学校について長寿命化改修や大規模なりリニューアル選択肢に含めることとした。また近隣に民間のスイミングスクールがある場合は、学校が積極的に活用する方向で検討することになった。その他、小規模な改修計画は随時公表されている。 |
| | 柔道整復師 | 9月施術分の療養費総請求額は対前年同月比で95.6%となり、依然として昨年を下回る結果となっている。介護保険もそうだが、国の保険政策による対価が物価に比しても低い上昇しかしておらず、介護と同様、接骨院の従事者の離職率も上昇してきている。また、それにもまして新型コロナウイルス感染症対策の影響により、組合員の施術所の来院患者数が激減しており、単価の低い保険を使用せず、やむを得ず組合から脱会し、自由診療に移行する方も増えてきている。今、日本は超高齢化社会を迎え、社会保障費用額が年々上昇し続けているが、医療や介護に従事者の人件費がその労働に比して十分に上昇しておらず、国民皆保険制度、介護保険制度が徐々に崩壊しそうだということも思慮してほしい。物価上昇に見合った医療・介護・療養費の適正な料金改定が行われなければ、離職者がより増加することとなり、その減少分を少なくなった従事者で補うといった構図が顕著となり、偏った社会保障制度により疲弊した従事者がさらに離職するといった悪循環に陥ることを国は考えてほしい。 |
| 建設業 | 管工事 | 年末から売上需要も多少好転し、景況の回復の兆しも見え少しは良くなってきた。公共工事においても施行時期の平準化に向けた発注が始まる。民間投資とともに期待したい。 |
| | 電気工事 | 仕事量に対し人員確保が厳しい状況で人手不足となっている。とあるデータバンクによるとロシア・ウクライナ情勢で50.8%が仕入確保に影響、66.7%が価格に影響とあった。当社でもインバーターが発注から1年後との回答があり、お客さまにも迷惑が掛かっている状況。価格UP前の物品購入が増えるも、工事につながらず取引条件、収益状況が進展しない。補助金活用の駆け込み需要に若干の期待あり。 |
| | 空調設備工事 | 令和5年から動き出すと思ったが、いまだに動いていない。材料費などの値上げが止まらないために利益が上がらない状況。今後先が見えないのが今だ。 |
| | 量工事 | 量替えシーズンの10月、11月、12月はコロナ禍になってから売上が少なくなっている。本年も12月は昨年並みに伸びていない。組合通して量材料購買も中々伸びない。12月25日（日）に行われた神奈川県職業能力開発協会主催、神奈川県技能士会連合会協力により行われた技能展・ものづくり体験教室が大盛況に終わった。少しでも量の良さ、ものづくりの魅力が伝わったかなと思う。令和5年がコロナ収束の年になりますように。 |
| 運輸業 | 道路貨物 | 長距離の輸送依頼が増えてきたが対応する事業者が少なくなり、依頼の多い関西方面などは2～3割高い運賃を示さないと走らない業者が増えてきた。12月はスポットで車の依頼を行う荷主が多くなるが、新型コロナウイルス感染症第8波の影響が大きく、感染するドライバーが急激に増え、人員不足で運行車両を減らす事業者が増えると共に、スポット対応できる車両が少なくなってきたことにより、通常運行にも支障を来すようになってきた。12月は例年お歳暮需要で飲料が増える時期であるが、今年は飲料の輸送が少なく、食料品の輸送が少なくなっている。 |
| | 道路貨物 | 海上コンテナ…非常に悪い。中国の影響大。地場輸送…仕事はあるが人員不足により車両の稼働率が悪く収益悪化。 |
| その他の非製造業 | 歯科技工 | 12月に入り貴金属を扱う仕事の受注量が減っている。歯科用貴金属の高騰が原因と考えられる。インプラント関連の仕事量は増えているが、総合すると経営は苦しい。令和4年は、ロシアのウクライナへの軍事侵襲により、歯科用貴金属が高騰を更新、他の歯科資材も値上がりし、紛争の長期化に伴い景況感が冷え込み収益状況は好転しなかった。 |
| | 不動産 | 今後の住宅ローン金利引き上げ、建築資材の高騰、住宅設備の高騰により利益率は低下する一方、コロナ禍の影響により賃金の低下で賃料滞納のまま自己破産が増えている。 |

行政庁・中央会に対する要望事項

| 集計上の分類業種 | 具体的な業種 | 行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等 |
|----------|-----------------------|--|
| 食料品 | パ ン | 物価高・電気・ガソリン上昇に対する補助金を希望する。 |
| 卸売業 | 卸 団 地 | ・新型コロナウイルス対策支援の他、物流費・光熱費等の仕入れコスト上昇に対する支援を引き続き、継続的に長期的かつ幅広くに対応を願いたい。 ・インボイス制度導入（国税庁）、電子帳簿保存法改正対応（国税庁）、道路交通法改正による全業種運転者のアルコールチェック義務化（警察庁）等行政による生産性の乏しい事業者管理業務のみを強化している感が否めない。それによる事業者コストをよく考え、必要以上の締め付けに対しては、緩和できる柔軟性を求めたい。例）インボイス軽減税率の廃止・消費税率統一、アルコールチェック業種制限を設定、電子帳簿保存一紙保存、データ保存の選択制も可とする。等 |
| 商店街 | 藤 沢 市 | 商店街支援の「プレミアム商品券支援事業費補助金」は今年度で一応終了の予定であると県担当者から聞いている。次年度以降も継続の要請をお願いしたい。 |
| 商店街 | 横 浜 市 | 引き続き中小企業の支援をお願いしたい。 |
| サービス業 | 柔 道 整 復 師 | 1. 対前年同月比がいまだに上がっておらず、早急な支援金などの対策をお願いしたいと考える。 2. 新型コロナウイルス感染症を感染症分類2型感染症から5型感染症に移行してほしい。 3. ワクチンパスポートはブレークスルー感染が多くなってきていることからその意味合いが不明であり、廃止してほしい。 |
| 建設業 | 電 気 工 事 | 外国人技能実習制度は受け入れができる職種・作業に限られている。外国人技能実習制度で電気工事作業員を認めてほしい。 |
| その他の非製造業 | 不 動 産 | 家賃（居住用・事業用とも）給付金の支給を求める。 |



























中小企業団体景況グラフ(全業種の主要項目)



本調査は、神奈川県中央会が委嘱した情報連絡員の役職員74名による調査結果です、調査対象は、情報連絡員は所属する組合の組合員「全業種」の景況（前年度同月比）です。

景況天気図(前年比)

(2022年12月)

| | 売上高 | 在庫数量 | 販売価格 | 取引条件 | 収益状況 | 資金繰り | 設備操業度 | 雇用人員 | 業界の景況 |
|------|---|---|---|---|---|--|---|---|---|
| 全体 | -1.4 % | -8.7 % | 28.4 % | -13.5 % | -33.8 % | -31.1 % | -14.3 % | -16.2 % | -29.7 % |
| |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 製造業 | -9.5 % | -14.3 % | 38.1 % | -9.5 % | -61.9 % | -38.1 % | -14.3 % | -14.3 % | -47.6 % |
| |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 非製造業 | 1.9 % | -4.0 % | 24.5 % | -15.1 % | -22.6 % | -28.3 % | % | -17.0 % | -22.6 % |
| |  |  |  |  |  |  | - |  |  |

(回答率 100.0%)

天気図の見方・・・各景況項目について「増加」（または「好転）」業種割合から「減少」（または「悪化」）業種割合を引いた値（KJI）をもとに作成。その基準は次の通りである。ただし、在庫数量はKJI値プラスの時には雨、マイナスの場合には晴れの方に著した。KJIとは、「神奈川県情報連絡印調査指数」の略である。

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 快晴 | 晴れ | くもり | 雨 | 雪 |
|  |  |  |  |  |
| 30以上 | 10～30未満 | 10未満～△10 | △10未満～△30未満 | △30以上 |

神奈川県中小企業団体中央会

11月の中小企業月次景況調査

〔令和4年11月末現在〕

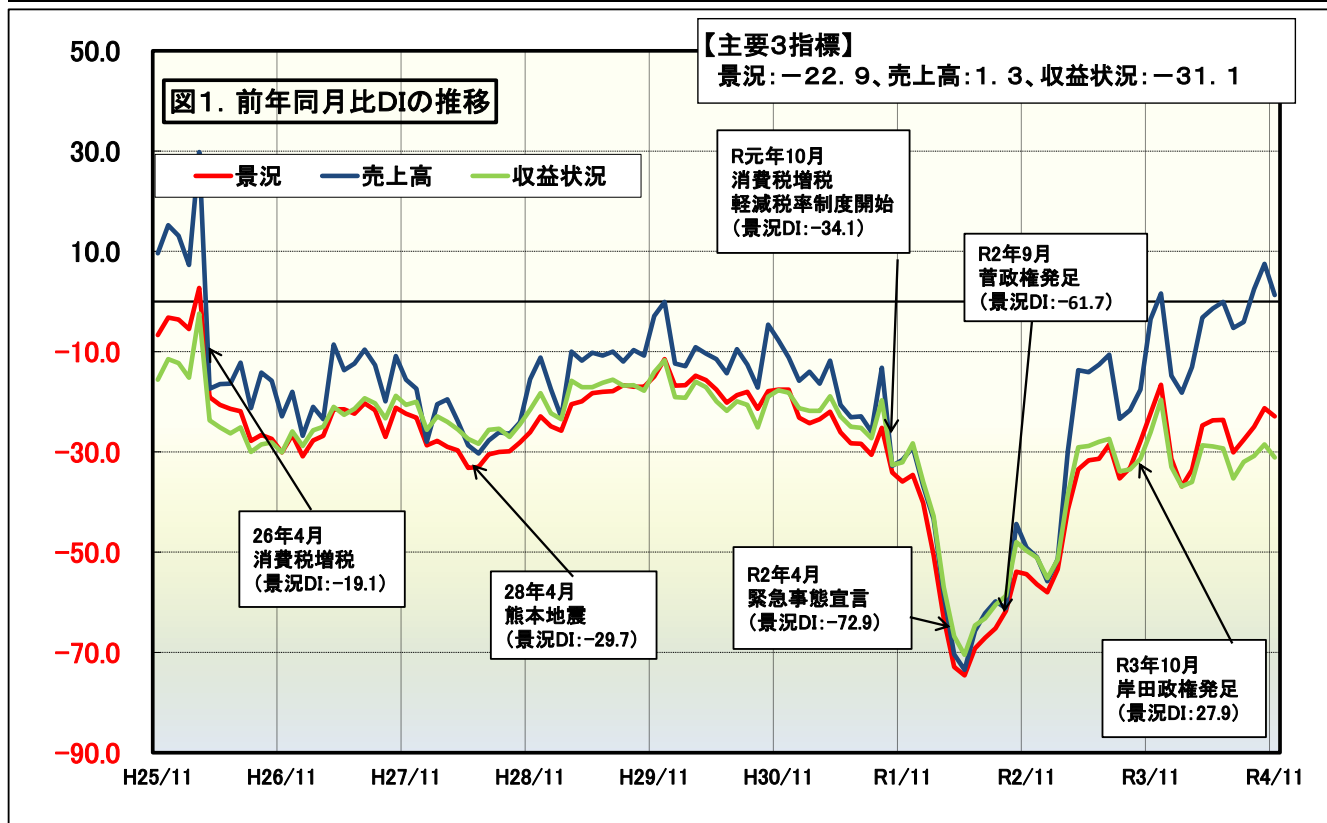


全国中小企業団体中央会
National Federation of Small Business Associations

令和4年12月26日発表

◎11月のDIは大半の指標が低下。

- 感染状況の沈静化、人流回復等による需要増により、各業種でプラスの要因はあるものの、電力等のエネルギー・原材料価格の高騰、価格転嫁の遅れ、部品・人手不足等による納期遅延等により、大半の指標が低下した。
- 年末商戦を控え、印刷業や運輸業等、一部の業種では改善傾向が見られるが、それ以外の業種では景況感は低下している。
- 感染状況や来年度以降の見通しに関する不透明感、後継者難を理由に廃業する組合員も散見される等、先行きを懸念する声も多い。



※DIとは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、好転 (増加・上昇) したとする割合から、悪化 (減少・低下) したとする割合を差し引いた値です。

本調査は、都道府県中央会に設置されている情報連絡員〔中小企業の組合 (協同組合、商工組合等) の役職員約2,600名に委嘱〕による調査結果です。
調査の対象は、情報連絡員が所属する組合の組合員の全体的な景況 (前年同月比) です。

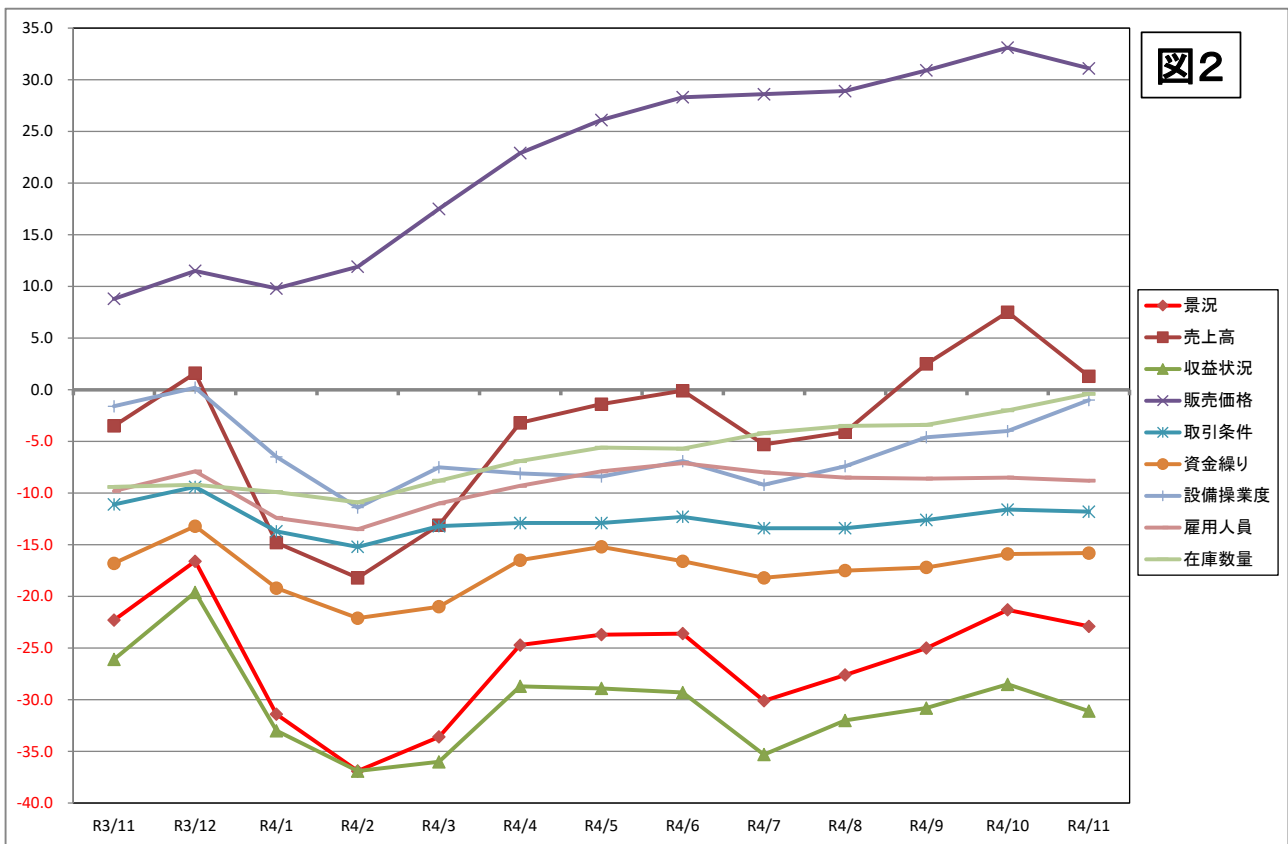
(本発表資料のお問い合わせ先)
全国中小企業団体中央会
担当：政策推進部
TEL 03-3523-4902
<https://www.chuokai.or.jp>

11月の調査結果のD I 概況

【指標D Iの動向とポイント】

1. 11月のD Iは、多くの指標が前月比低下した。主要3指標は、景況が1.6ポイント低下、売上高が6.2ポイント低下、収益状況が2.6ポイント低下した。
2. 主要3指標以外では、販売価格のD Iが2.0ポイント低下した。
3. 感染状況の落ち着きや人流の回復はあるものの、長引くエネルギー・仕入価格高騰や価格転嫁の遅れ、人材不足や部品不足による納期遅延等の要因により、一部の指標を除く大半のD Iが低下した。

全指標の前年同月比D Iの推移（直近1年間）



| 指標 | R3 | | R4 | | | | | | | | | | | 前月比 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | |
| 景況 | -22.3 | -16.6 | -31.4 | -36.9 | -33.6 | -24.7 | -23.7 | -23.6 | -30.1 | -27.6 | -25.0 | -21.3 | -22.9 | -1.6 |
| 売上高 | -3.5 | 1.6 | -14.8 | -18.2 | -13.1 | -3.2 | -1.4 | -0.1 | -5.3 | -4.1 | 2.5 | 7.5 | 1.3 | -6.2 |
| 収益状況 | -26.1 | -19.6 | -33.0 | -36.9 | -36.0 | -28.7 | -28.9 | -29.3 | -35.3 | -32.0 | -30.8 | -28.5 | -31.1 | -2.6 |
| 販売価格 | 8.8 | 11.5 | 9.8 | 11.9 | 17.5 | 22.9 | 26.1 | 28.3 | 28.6 | 28.9 | 30.9 | 33.1 | 31.1 | -2.0 |
| 取引条件 | -11.1 | -9.4 | -13.7 | -15.2 | -13.2 | -12.9 | -12.9 | -12.3 | -13.4 | -13.4 | -12.6 | -11.6 | -11.8 | -0.2 |
| 資金繰り | -16.8 | -13.2 | -19.2 | -22.1 | -21.0 | -16.5 | -15.2 | -16.6 | -18.2 | -17.5 | -17.2 | -15.9 | -15.8 | 0.1 |
| 設備操業度 | -1.6 | 0.2 | -6.5 | -11.4 | -7.5 | -8.1 | -8.4 | -6.9 | -9.2 | -7.4 | -4.6 | -4.0 | -1.0 | 3.0 |
| 雇用人員 | -9.8 | -7.9 | -12.4 | -13.5 | -11.0 | -9.3 | -7.9 | -7.1 | -8.0 | -8.5 | -8.6 | -8.5 | -8.8 | -0.3 |
| 在庫数量 | -9.4 | -9.2 | -9.9 | -10.9 | -8.8 | -6.9 | -5.6 | -5.7 | -4.2 | -3.5 | -3.4 | -2.0 | -0.4 | 1.6 |

【情報連絡員報告から総括する景況調査のPOINT】

1. 電力・ガス等エネルギー価格の高騰による収益悪化に苦慮しているコメントが引き続き数多く寄せられている。
2. 建設業や製造業における外国人労働者等の人手不足、コロナ禍や後継者不在による廃業等に関する報告も引き続き数多く報告されている。
3. コロナ禍を契機としたニューノーマルに向けた取組み、インボイス制度に関する声も引き続き寄せられている。

《主な報告内容》

◇電力等エネルギー価格高騰、価格転嫁への対応等

- ・印刷用紙が1年間で3回目の値上げが決定した。再三にわたる価格転嫁交渉は困難な状況にある。（宮城県／印刷業）
- ・電気料金の高騰で頭が痛い。使用料金は減少しているが、燃料調整額が一年前と比べて△1.48円/kwh→9.39円/kwhと大幅増となっており、対策の施しようがない。（栃木県／一般機械器具製造業）
- ・光熱費の高騰は、原材料等すべての費用の高騰につながり、大きく収益を圧迫。電気料金に関しては、燃料調整費の影響で前年同月比50%増、更に4月以降は料金改定により25%以上増加する見込みであり、経営努力でどうなるものでもない。（岡山県／工作機械製造業）

◇長引くコロナ禍による経営への影響等

- ・外国人の特定技能取得が増えるに連れ、他業種への移動が出てきている。円安により、仕送り額が目減りして離職を決める外国人労働者の増加が心配である。（岐阜県／鋳物業）
- ・高齢化に伴う廃業が、組合員や協力工場（加工業者）で見受けられる。後継者がいないことが第一の原因で、今後、製造の全工程を地域内で完結できなくなり、外注しなければならなくなる手前まで来ている。（富山県／非鉄金属製品卸売業）
- ・後継者がいないための廃業による組合脱退が9件発生しており、組合の新陳代謝を今後どう進めるかが課題となっている。（福岡県／板金工事業）

◇コロナ禍を契機としたニューノーマル・業態変換（事業再構築）等の取組み

- ・県道路整備課から、来年度のパイロット事業として「AIを活用した交通量調査」の見積り依頼を受けたことから、将来的に組合事業の柱となしうるか、他県の事例等も研究することとしている。（千葉県／道路建築サービス業）
- ・国産材を見直し活用する製品を開発し、付加価値の高い新商品で対応などに取り組んでいる。事業再構築補助金により、業務の幅を拡大する企業もある。（神奈川県／家具製造業）
- ・これからの業界に対しての課題は、ブランディングによる付加価値向上やDXを活用した生産性向上と企業差別化及び優位性を、早急に取り組む必要性を感じている。（佐賀県／家具製造業）

◇インボイス制度に関する事業者の声

- ・免税事業者においては、資格や保険等の体制整備の遅れで、ゼネコンや公共工事へ参入できず受注量が減少している。さらに、インボイス制度への対応を懸念。（群馬県／塗装工事業）
- ・税務署からインボイス制度周知にかかる協力依頼があった。消費税の経理処理を顧問の税理士などに丸投げしている組合員の方も多く、インボイス制度について全く理解していない方もいて、対応に苦慮している。（東京都／青果小売業）
- ・「インボイス制度」がスタートすることで、小規模な自動車整備工場が廃業を余儀なくされるのではないかと心配している。税理士と契約している事業者は、アドバイスを受けていると思われるが、家族が経理全般を行っているところが少なくないなかで、インボイスを理解していないところも多く、当組合としても事業者の実態を把握して適切な対応ができればよいが、一步踏み込むことが中々難しい状況で、研修会等を開催して周知する程度にとどまり頭を抱えている。（山口県／自動車整備業）
- ・インボイス制度の登録申請状況を組合員宛て聞いたところ、回答のあった8社のうち登録番号取得済みが6社、申請中が1社、その他が1社であった。（愛媛県／卸売業）

※ 後述の「Pick up!」ならびに「情報連絡員からの報告（要旨）」等も参照。